

# ●言語聴覚士からのお知らせ● (誤嚥性肺炎、小児リハビリ)



言語聴覚士  
荒井 美香



私は言語聴覚士として主に、  
嚥下障害(飲み込みの障害)  
高次脳機能障害(注意・記憶  
など脳機能の障害)、構音障  
害(発音の障害)のある患者  
様を対象にリハビリを行って  
おります。

高齢になると飲み込む力が弱くなり、誤嚥性肺炎を起こすリスクが高くなります。また、まひなどの脳梗塞後遺症によって飲み込みにくくなる場合もあります。そのような患者様に対し、飲み込みの機能を評価し安全な食形態について検討したり、口腔体操や飲み込む力を強くするリハビリをしたりすることで、肺炎の改善・再発予防を図っています。

外来では、小児のリハビリも行っております。50音でうまく言えない音がある、会話が不明瞭など、主に構音の問題に対してアプローチしております。機能性構音障害の場合、正しい発音の仕方を教えることで改善が見込まれます。気になる方はぜひ小児科へご相談ください。

## ●病院NEWS●

### #石岡エール飯が職員に配られました



エール飯受付

美味しいお弁当でした！

新型コロナウイルスの流行により、外出制限自粛の影響を受けている飲食店さんを応援しようと、市内のお店から石岡エール飯をテイクアウトして職員に配りました。職員一同、美味しく頂きました。

### 小児発熱外来がスタートしました。



発熱外来用プレハブ

診察室の様子

令和3年3月現在、小児発熱外来を行っております。発熱外来を行っている期間中は、小児科の受診方法が変更になっています。詳しくはホームページをご覧ください。



公益社団法人 地域医療振興協会

ISHIOKA DAIICHI Hospital a Quarterly Magazine GENKI

石岡第一病院 広報誌

# 元genki気



## ●新任医師のご紹介

## ●当院の感染対策について

## ●言語聴覚士からのお知らせ

## ●病院NEWS

2021  
冬号  
Vol.35

## ■新しい先生のご紹介！■

## ▲当院の感染対策について▲



2020年8月1日に常勤医師として着任いたしました内科の金子敏明と申します。

茨城県かすみがうら市生まれ育ち、土浦一高を経て、2015年に杏林大学医学部を卒業し、今年度で医師6年目になります。卒業後は、高齢化率が全国でも有数の高知県で、総合診療科及び救命救急科での診療、県庁での医療行政に従事した後、東京にて厚生労働省医系技官として新型コロナウイルス感染症対策等に従事していました。厚労省で働き始めた際、地域の医療現場に少しでも貢献できないかと考えていたところ、ご縁あって当院の非常勤内科医師として勤務する機会をいただきました。それをきっかけに地域の医師不足や新型コロナウイルス感染症の状況に触れ、地域の医療に直接貢献したいという気持ちから、厚労省を退官し地元に戻ってきました。

地域の皆様が健やかな生活を送れるようお手伝いできればと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

当院の院内感染対策は、患者様やご家族をはじめ、病院に関わるすべての人たちを感染から守るために「標準予防策(スタンダードプリコーション)」の観点に基づいた医療・看護行為を実践しています。あわせて感染経路に応じた予防策を実施しています。また、病院内外の感染症情報を広く収集して院内感染の危険及び発生に迅速に対応することを目指しています。



トリアージの様子



非接触型体温計

さらに、院内感染が発生した事例については、速やかに予防策の実施及び、評価し事例の発生の原因となった感染対策システム上の不備や不十分な点の改善に努めています。院内感染対策活動の必要性・重要性を職員全体に周知、徹底することで良質な医療を提供することを目標として積極的な取り組みを行っています。

当院では新型コロナウイルス感染症をはじめ多くの感染症対策を講じています。新型コロナウイルス感染症は症状を発症した2日前から人へ感染させる力があり、発症してからの対処・対応では感染拡大を防げない非常に難しいものです。

### ▲標準予防策

すべての患者様が何かしらの疾患や感染症を抱えているという前提のもと対応をします。患者様と接触する際に手袋・ガウン・マスク・ゴーグル(フェイスシールド)の着用が必須となります。これらを着用してからやっと患者さんと接することができます。

### ▲非接触型体温測定

当院へ来られる全ての方に体温を測定していただいています。発熱がある場合は看護師のトリアージを受けていただいています。発熱しているかたは院内へ入ることがないように対策しています。

### ▲トリアージ

看護師が患者様の症状などから、新型コロナウイルスのPCR検査の必要性を判断し、一般外来患者様と同じ空間に混同しないようにしています。また、緊急性の有無を判断し、必要に応じた対応を行っています。

### ▲職員の健康管理

全職員、毎日の体温測定を行っています。少しでも体調の異常を感じた場合は出勤せず、新型コロナウイルスPCR検査を実施しています。